

# 「グリーン農業総覧」 2017年総合版・刊行に当たって

私たちの身近にある樹木、芝草、花卉等のいわゆる「緑の資源」は、日々の生活に潤いをもたらしてくれるのみならず、地域環境の保全に寄与するなど、国民生活において、ますますその存在意義を増し、それに関する国民のニーズには高いものがあります。

これらの身近な樹木、芝草等の「緑の資源」を最良の状態に維持してゆくためには、良好な生育環境を保つ必要があり、常日頃の管理に多くの努力と関係する各分野の支えが不可欠です。とりわけ「緑の資源」の大敵である病虫害、雑草の防除が極めて重要であることはいまでもありませんが、各種の防除方法の中でも農薬の果たす役割は極めて大きいものがあります。

当協会では病虫害・雑草防除のための知識・技術を習得し、農薬の適正・安全使用に関する監督・指導を行う適任者を、「緑の安全管理士」として認定し、その活動を支援するため、認定研修、資格認定、活動支援等を実施し、農薬の適正使用や安全防除等に関する知識の付与および技術の強化等を図る事業を推進しております。

これら事業の一環として、現場における農薬使用者に対し、必要な情報を提供する観点から、「グリーン農業総覧」を刊行しております。本版は、2016年12月末現在の情報を網羅し、芝、樹木類関係の病虫害・雑草防除に登録のある農薬について、対象分野別に整理し、取りまとめたものです。

つきましては、農薬の適正使用を確保する座右の書として、農薬の流通及び使用の場面で大いにご活用され、農薬の安全性確保に万全を期されることを念願し、刊行のご挨拶を申し上げます。

2017年版「グリーン農業総覧」の刊行に当たり、最新情報をご提供いただきましたメーカー各社並びに樹木及び樹木類分野での取りまとめにご協力いただきました元（独）森林総合研究所 上席研究官 松浦邦明氏 等関係各位のご協力に対し、心から厚くお礼申し上げます。

2017年3月1日

公益社団法人 緑の安全推進協会  
会長 齊藤 登

## I. 編集方針

1. 本総覧では、登録農薬の有効成分ならびに製剤の特性を品目別に示し、それにもとづく使用上のポイント、適正かつ安全な使用方法が明確になるように編集した。
2. 新規に追加収録した品目は、芝および緑地に対象分野（家庭園芸薬剤含む）があつて、平成27年1月1日～平成27年12月31日現在で登録農薬のうち上市する品目とした。緑地とは、樹木、芝および公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、のり面等を云い、林業用の苗木、林木、花卉類は範囲外とした。

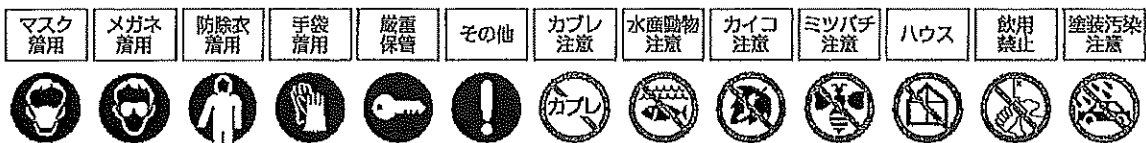
## II. 利用の手引き

1. 記載の順序は下記のとおりである。

農薬を殺虫剤、殺菌剤、除草剤、植物成長調整剤、家庭用園芸剤、その他に区分し、各剤の商品名の50音順に従って配列した。商品名の頭にアルファベットがつく商品はABC順に上記の後に記載した。

2. 構成及び記載内容は下記のとおりである。

- (1) 【毒性】は毒物・劇物等の区分とLD<sub>50</sub>の値で、【魚毒性】はLC<sub>50</sub>、EC<sub>50</sub>、TLm、藻類はErC<sub>50</sub>等の値で示した。数値は何れも原則として製剤の値とし、製剤の値が得られていない場合は原体の値で（原体）と表示した。又、混合剤で成分名を記した値は原体の値を意味する。  
尚、「普通物」とは毒物・劇物に該当しないものを指す通称である。
- (2) 【品目特性】では、特に、防除特性については、速効性、遅効性、残効性、浸透移行性、化学的安定性などを中心に記述した。
- (3) 【使用上のポイント】では、品目の特性を発揮して防除効果をあげるための使用方法に重点をおいた。
- (4) 【適用と使用法】では、それぞれの品目の芝及び緑地等の範囲に限定記載した。
- (5) 【その他登録適用作物】では、芝・緑地、樹木及び樹木類以外に登録取得している作物がある場合は作物名を記載した。詳細内容は製品ラベルで確認願いたい。
- (6) 【薬効・薬害等の注意】では、薬効を低下させる混用、特に薬害を回避するための基本的な事項に重点をおいて記述した。
- (7) 【安全対策上の注意】では、特に注意を要する品目について、ラベル等の表示に従い、以下の絵表示を付した。一般的な注意事項は紙面の都合上割愛した。



- (8) 取扱い会社名は、農薬登録取得及び登録はないが販売を行っている会社名を50音順に記載した。
- (9) 原体会社名は、原則として原体を製造し品目の取扱い会社との取引のある会社名を記載した。  
同一原体を2社以上で製造している場合は、それらの会社名を併記した。有効成分が2種以上で構成されている品目の原体会社名は、種類名の構成順序に従って、順に記載した。  
なお、銅製剤・マシン油乳剤・天然化合物の一部について原体会社名は記載を省略した。
- (10) 同成分及び成分量が同一の商品は原則として登録取得の早い剤を掲載し、取扱会社欄にて太字で商品名を記載した。
- (11) 取扱い会社で登録取得している場合は登録Noを付した。尚、取扱い会社で登録ない場合は登録取得会社の登録Noを（ ）で付した。

### III. 農薬安全対策

農薬の安全使用については、すべての農薬に共通することである。個別の注意事項以外に共通する事項としては下記の通りである。

- (1) 農薬を安全に使用することは散布作業者の責務であり、作業中は農薬用マスク・防護マスク、手袋、防除衣(長ズボン・長袖の作業衣、液剤散布の場合は不浸透性のものなど)などを着用し、作業後は顔、手足など露出部を石けんでよく洗い、うがいや洗眼を行う。散布終了後は全身を洗うなどの習慣をつける。
- (2) 農薬による危被害の多い例は、誤飲、誤食である。万一の場合は直ちに医師の手当を受ける。また、誤飲、誤用防止のため、小児の手の届く所に置いたり、他の容器に小分けしたりしない。
- (3) 農薬中毒の解毒法は品目によって異なり、素人では処置できないことから、中毒の原因となった農薬のラベルを医師に示し、診療を受けるようにする。
- (4) 散布器具、容器の洗浄液は適切に処理し、河川に流さない。又、使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- (5) 農薬容器に印刷添付されたラベルには、使用に際しての必要な事項を記載してあるので、これを十分熟読し、安全、的確に使用するように徹底する。とくに、散布地域(ゴルフ場、公園、堤など)や周辺環境(水源池、養魚池、桑園など)に対する安全対策を十分に行い、農薬散布の影響が及ばないように十分に配慮する。
- (6) 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、被害を及ぼさないように注意を払う。
- (7) 初めて使用する薬剤の場合は病虫害防除所などの農業技術者の指導を受ける。
- (8) 使用済み農薬の容器や紙袋は、圃場などに放置せず、適切に処理する。空容器は3回以上水洗し希釈水として使用する。
- (9) 農薬の保管は原則として、農薬を密封し、直射日光を避け、カギのかかる低温で乾燥した場所で、個別の表示に注意して保管する。

#### 《中毒についての緊急問い合わせ》

##### 公益財団法人 日本中毒情報センター

散布作業中や散布後に異常を感じた場合は、直ちに医師の手当を受けてください。  
処置法などで不明なことは、医師から下記に電話してお尋ねください。

	一般市民専用電話 (通話料のみ)	医療機関専用有料電話 (1件につき2,000円)
大阪(365日、24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば(365日、9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

# 記載会社名

(アイウエオ順)

会社名	略称	会社名	略称
アグロカネショウ(株)	カネジョウ	(株)トモグリーン・ケミカル	トモG
アース製薬(株)	アース	日産化学工業(株)	日産
アダマ・ジャパン (旧マクテシム・アガン・ジャパン)	アダマ・ジャパン	日産緑化(株)	日産緑
アリスタ ライフサイエンス(株)	アリスタ	(株)ニチノ緑化	ニチ緑
石原産業(株)	石原	(株)ニッソーグリーン	ニッソーG
石原バイオサイエンス(株)	石原バイオ	日本化薬(株)	日化薬
井筒屋化学産業(株)	井筒屋	日本カーリット(株)	カーリット
出光アグリ(株)	出光	日本曹達(株)	日曹達
イハラケミカル(株)	イハラケミ	日本農薬(株)	日農
(株)エス・ディー・エス バイオテック	S D S	ニューファム(株)	ニューファム
エフエムシーケミカルズ(株)	F M C	バイエル クロップサイエンス(株)	バイエルC
(株)エムシー緑化	エムシー緑	BASF ジャパン(株)	B A S F
大内新興化学工業(株)	大内	ホクサン(株)	ホクサン
OAT アグリオ(株)	O T C ア	北興化学工業(株)	北興
(株)オキ アルム事業部	アルム	北興産業(株)	北興産
科研製薬(株)	科研薬	保土谷アグロテック(株)	保土谷ア
協友アグリ(株)	協友	保土谷化学工業(株)	保土谷
クミアイ化学工業(株)	クミ化	保土谷 UPL(株)	保土谷 UPL
(株)クレハ	クレハ	丸善薬品産業(株)	丸善薬
クロレラ工業(株)	クロレラ	丸紅(株)	丸紅
ゴーワン社	ゴーワン	丸和バイオケミカル(株)	丸和
サンケイ化学(株)	サンケイ	三井化学アグロ(株)	三井ア
CBC(株)	C B C	Meiji Seika ファルマ(株)	M e i j i
信越化学工業(株)	信越化	ユーピーエルジャパン(株)	ユーピーエル
シンジェンタ ジャパン(株)	シンジェンタ	米澤化学(株)	米澤
住化グリーン(株)	住化グ	(株)理研グリーン	理研G
住商アグロインターナショナル(株)	住商	琉球産経(株)	琉産
住友化学(株)	住友化	レインボー薬品(株)	レインボー
住友化学園芸(株)	住化園		
全農グリーンリソース(株)	全農G		
ゾエティス・ジャパン(株)	ゾエティス		
第一農薬(株)	一農		
ダウ・ケミカル日本(株)	ダウ		
デュボン(株)	デュボン		
東洋グリーン(株)	東洋G		
東京ファインケミカル(株)	ファインケミ		



- ③同画面の末尾にある、利用に当たっての「同意する」の確認が必要です。  
クリックすると、以下の画面に進みます。

- ④「農薬登録情報提供システム」をクリックします。  
クリックすると、以下の画面に進みます。

- ⑤「簡易検索」または「詳細検索」を目的に合わせて選択します。  
以下に、両者の目的と操作を簡単に紹介します。

**【簡易検索】とは、**

調べたい農薬の「登録番号第00000号」か「農薬の名称(商品名)」が分かっている場合に便利です。  
 クリックすると、以下の「農薬登録情報提供システム」画面に進みます。

### 検索項目を指定した検索 【簡易検索】

### ご利用方法

**検索方法：**

1. 下記の項目を入力し、「検索」ボタンをクリックすると検索を開始します。
2. (1)登録番号を入力した場合は、(2)登録の有無以降の入力は無効となります。
3. (1)登録番号を入力しない場合は、(2)登録の有無\*（必須項目）と(3)登録年月日～(6)農薬の名称のいずれかを指定してください。
4. (1)登録年月日(2)有効期限は西暦で入力してください。また、年・月のみで検索することができます。
5. \*の項目は、入力された文字を含む文字列を検索します。

(1) 登録番号      第  号

---

(2) 登録の有無 \*     ▼

(3) 登録年月日       年  月  日

(4) 有効期限         年  月  日

(5) 農薬の種類 \*   

(6) 農薬の名称 \*   

<免責事項>  
 独立行政法人農林水産消費安全技術センターは利用者が当ホームページの情報を利用

●調べたい農薬の「登録番号第00000号」または「農薬の名称(商品名)」を(1)または(6)に入力し(他項目は入力不要)、末尾の「検索」をクリックすると、対応する登録農薬が以下のようにリストされます。更に該当する登録番号をクリックすることで、個別登録番号の登録内容の情報を確認することができます。

### 農薬登録情報

**検索条件**

登録の有無	有効
農薬の名称	スミチオン乳剤

**登録農薬一覧**

登録番号	農薬の種類	農薬の名称	登録の有無
第4962号	MEP乳剤	比化スミチオン乳剤	有効
第4982号	MEP乳剤	日産スミチオン乳剤	更新予定
第4991号	MEP乳剤	ホクコーススミチオン乳剤	更新予定
第5012号	MEP乳剤	日産スミチオン乳剤	更新予定





## 農薬使用計画書の提出

ゴルフ場で農薬を使用する者は、法令（「農薬を使用する者が遵守すべき基準を定める省令」（675頁参照））に基づき、毎年度、当該農薬を使用とする最初の日までに、農薬使用計画書を農林水産大臣に提出しなければなりません（変更の際も、同様です。）。

### 【農薬使用計画書の様式】

農林水産省ホームページ「農薬コーナー」に次のファイルが掲載され、利用することができます。

[http://www.maff.go.jp/j/syouan/nouyaku/n\\_keikaku\\_01/index.html](http://www.maff.go.jp/j/syouan/nouyaku/n_keikaku_01/index.html)

- ・農薬使用計画書（ゴルフ場）PDFファイル版
- ・農薬使用計画書（ゴルフ場）エクセルファイル版
- ・農薬使用計画書（ゴルフ場）エクセルファイル（入力補助あり）版

### 【農薬使用計画書の提出窓口】

提出する窓口は、平成27年10月より、次の地域を管轄する地方農政局に変更されました。計画書は、メールによる電子ファイルでの提出も可能です。

- ・北海道農政事務所消費・安全部安全管理課  
所在地：〒064-8518 札幌市中央区南22条西6丁目2-22  
電話：011-330-8800（代表）  
メールアドレス：n\_keikaku\_hokkaido★hokkaido.maff.go.jp（「★」を「@」に置き換えてください）  
管轄地域：北海道
- ・東北農政局消費・安全部安全管理課  
所在地：〒980-0014 仙台市青葉区本町三丁目3番1号  
電話：022-263-1111（代表）  
メールアドレス：n\_keikaku\_tohoku★tohoku.maff.go.jp（「★」を「@」に置き換えてください）  
管轄地域：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- ・関東農政局消費・安全部安全管理課  
所在地：〒330-9722 さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館  
電話：048-600-0600（代表）  
メールアドレス：n\_keikaku\_kanto★kanto.maff.go.jp（「★」を「@」に置き換えてください）  
管轄地域：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県
- ・北陸農政局消費・安全部安全管理課  
所在地：〒920-8566 金沢市広坂2丁目2番60号  
電話：076-263-2161（代表）  
メールアドレス：n\_keikaku\_hokuriku★hokuriku.maff.go.jp（「★」を「@」に置き換えてください）  
管轄地域：新潟県、富山県、石川県、福井県
- ・東海農政局消費・安全部安全管理課  
所在地：〒460-8516 名古屋市中区三の丸1-2-2  
電話：052-201-7271（代表）  
メールアドレス：n\_keikaku\_tokai★tokai.maff.go.jp（「★」を「@」に置き換えてください）  
管轄地域：岐阜県、愛知県、三重県
- ・近畿農政局消費・安全部安全管理課  
所在地：〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町  
電話：075-451-9161（代表）  
メールアドレス：n\_keikaku\_kinki★kinki.maff.go.jp（「★」を「@」に置き換えてください）  
管轄地域：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- ・中国四国農政局消費・安全部安全管理課  
所在地：〒700-8532 岡山市北区下石井1丁目4番1号  
電話：086-224-4511（代表）  
メールアドレス：n\_keikaku\_chushi★chushi.maff.go.jp（「★」を「@」に置き換えてください）  
管轄地域：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ・九州農政局消費・安全部安全管理課  
所在地：〒860-8527 熊本県西区春日2丁目10番1号  
電話：096-211-9111（代表）  
メールアドレス：n\_keikaku\_kyushu★maff.go.jp（「★」を「@」に置き換えてください）  
管轄地域：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
- ・沖縄総合事務局農林水産部消費・安全課  
所在地：〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち2丁目1番1号那覇第2地方合同庁舎2号館  
電話：098-866-1627  
メールアドレス：n\_keikaku\_okinawa★ogb.cao.go.jp（「★」を「@」に置き換えてください）  
管轄地域：沖縄県

## グリーン農薬総覧 2017年総合版 目次

### グリーン農薬総覧(2017年版)の刊行に当たって

編集基準	1
殺虫剤	11
殺菌剤	141
除草剤	257
植物成長調整剤	439
家庭用園芸剤・その他	461
付録	537
芝害虫、病害及び雑草防除登録農薬一覧	
(1) 殺虫剤	538
(2) 殺菌剤	540
(3) 除草剤	544
(4) 植物成長調整剤	552
樹木及び樹木類適用病虫害並びに雑草防除登録農薬一覧	554
(1) 殺虫剤	555
(2) 殺菌剤	600
(3) 殺虫殺菌剤	620
(4) 植物成長調整剤	631
(5) その他	635
(6) マツ枯れ	637
(7) 樹木類の作物名別の防除剤	642
(8) 樹木等の除草剤	652
農薬関係法令	665
(1) 農薬取締法	665
(2) 農薬を使用する者が遵守すべき基準を定める省令	675
(3) ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針値	679
(4) ゴルフ場における農薬使用計画書の公表について	683
(5) ゴルフ場における農薬使用計画書の作成及び留意事項	684
(6) 住宅地等における農薬使用について	687
樹木等の病虫害防除に関する手引き	691
農薬ラベルの確認ポイント	702
索引	703
広告の紹介(広告掲載メーカー・防除業社等の紹介)	711

# メタフルミゾン水和剤 アクセルフロアブル

成分：メタフルミゾン……………25.0%  
性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

毒性：普通物 LD<sub>50</sub> ラット(経口) ♀ >2,000mg/kg、ラット(経皮) ♂♀ >2,000mg/kg  
魚毒性：LC<sub>50</sub> コイ 96h 214mg/ℓ、EC<sub>50</sub> オオミジンコ 48h 18.3mg/ℓ  
ErC<sub>50</sub> 緑藻 24-72h 758mg/ℓ、EbC<sub>50</sub> 緑藻 0-72h 177mg/ℓ

## 品目特性

- チョウ目害虫に高い効果を発揮し、齢期の進んだ幼虫にも高い効果を示す。
- 樹木類のケムシ類を的確に防除する。

## 使用上のポイント

- 使用前に容器を軽く振る。
- 植物体への浸透移行による効果は弱いので、散布ムラのないように葉の表裏に十分散布する。

## 適用と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メタフルミゾンを含む農薬の総使用回数
樹木類	ケムシ類	1000～4000倍	200～700ℓ/10a	発生初期	6回以内	散布	6回以内

## その他登録適用作物

花き類・観葉植物(きくを除く)／キャベツ／はくさい／レタス／非結球レタス／ブロッコリー／非結球あぶらな科葉菜類／だいこん／だいず／えだまめ／しょうが／さといも／かんしょ／きく／たばこ

## 薬効・薬害等の注意

- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
  - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。
  - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対し、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種にはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。

## 安全対策上の注意

- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受ける。使用後は洗眼する。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも使用当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。

【取扱メーカー】 日農22461、石原バイオ(22461)

【原体メーカー】 日農

【包装形態】 500mℓ×20

# オキシテトラサイクリン・ストレプトマイシン水和剤 アグリマイシン-100

成分：オキシテトラサイクリン…………… 1.5%  
 ストレプトマイシン……………15.0%  
 性状：淡黄褐色水和性粉末

毒性：普通物 LD<sub>50</sub> ラット(経口) ♂♀ > 16,000mg/kg、ラット(経皮) ♂♀ > 5,000mg/kg  
 魚毒性：LC<sub>50</sub> コイ 96h > 1,000mg/ℓ

## 品目特性

- 西洋芝「かさ枯病」に登録のある唯一の抗生物質である。
- 抗菌範囲の異なる2種類の抗生物質を配合しているため、幅広い細菌に対して有効。
- 2種類の抗生物質は細菌に対する作用機構が異なるため、耐性菌ができてにくい。
- 農業用として50年以上使用されており、高い実績がある。

## 使用上のポイント

- 発病初期までの予防的散布とする。
- 生産圃場での使用とする。

## 適用と使用法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキシテトラサイクリンを含む農薬の総使用回数	ストレプトマイシンを含む農薬の総使用回数
西洋芝 (ベントグラス) (生産圃場)	かさ枯病	500倍	発病前～ 発病初期	8回以内	1m <sup>2</sup> 当り 0.5ℓ 散布	8回以内	—

## その他登録適用作物

りんご／なし／もも／うめ／すもも／キウイフルーツ／ばれいしょ／キャベツ／はくさい／レタス／たまねぎ  
 ／にんにく／こんにゃく／たばこ／桑／シクラメン／ほおずき

## 薬効・薬害等の注意

- 石灰硫黄合剤との混用は避ける。また、ボルドー液と混用する場合は使用直前に混合する。
- 使用により、薬害としてクロロシス(黄化現象)を生じることがある。特に高温多湿時には薬害を生じやすいので、留意の上散布する。

## 安全対策上の注意

- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用する。  
 作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避ける。
- 夏期高温時の使用は避ける。



【取扱メーカー】 ゴエティス3316  
 【原体メーカー】 ゴエティス  
 【包装形態】 100g×60、500g×20、1kg×10

# アシュラム液剤 アーヅランAL

成分：アシュラム……………0.20%  
性状：無色透明液体

毒性：普通物 LD<sub>50</sub> ラット(経口) >4,000mg/kg、ラット(経皮) >1,000mg/kg  
魚毒性：LC<sub>50</sub> コイ 96h >1,000mg/l

## 品目特性

- 芝生(日本芝、こうらいしば)の中に発生した一年生雑草(スズメノカタビラ、メヒシバなど)を選択的に防除する。
- ゴルフ場で実績の高いアーヅラン(アシュラム)を使いやすいよう希釈した、うすめずそのまま使えるシャワー剤。
- いやな臭いがほとんどない。
- 哺乳類、鳥類、昆虫類、微生物などへの影響が少ない除草剤。

## 使用上のポイント

- 1m<sup>2</sup>当たり100～150mlを、うすめずそのまま散布し、雑草の茎葉に十分薬液がかかるようにする。
- まきすぎると芝に薬害が出るおそれがあるので、必ず使用量を守る。
- 効果の発現に時間を要するため、誤って再散布をしないよう注意する。

## 適用と使用方法

作物名	適用雑草名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アシュラムを含む農薬の総使用回数
日本芝 (こうらいしば)	一年生雑草	100～150ml/m <sup>2</sup> (原液散布)	春夏期 雑草生育期 (草丈10cm以下)	3回以内	雑草茎葉 散布	3回以内

## 薬効・薬害等の注意

- 生育期の一年生雑草に有効なので雑草の発生後、生育期(草丈10cm以下)に茎葉に均一に散布する。
- カヤツリグサ科雑草に対して効果が劣るので、カヤツリグサ科優占圃場での使用はさける。
- 遅効性で、効果の現れるまでかなりの時間を要し、散布時期が遅れると効果が劣るので時期を失しないように散布する。また、低温期では更に効果発現が遅れる可能性があるが、誤って再散布しない。
- 日本芝に使用する場合は、下記の項目に注意する。
  - ①生育期(雑草生育初期)に使用する場合、夏季高温期および芽立ち期の散布は一時的に黄化を生ずるおそれがあるのでさける。
  - ②メヒシバ、スズメノカタビラには効果を安定させるため、4～5葉期までに使用する。

## 安全対策上の注意

- 眼に入らないように注意。眼に入った場合は直ちに水洗する(弱い刺激性)。
- 公園などで使用する場合、散布区域に縄囲いや立札をたて、散布中及び散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜に留意する。

【取扱メーカー】 ハイポ(22878)

【原体メーカー】 保土谷UPL 22878

【包装形態】 2ℓ×8、2.5ℓ×8、4ℓ×5、5ℓ×4